

第30回千葉県救急業務高度化推進協議会 議事概要

日 時：令和8年1月29日（木）14時00分から14時43分

場 所：Zoom

出席委員：10名

中田会長、金江委員、宮田委員、別所委員、茂木委員、田中委員、
井上委員、片桐委員、山口委員、青柳委員

代理出席：10名

高橋（功）委員代理、不動寺委員代理、齋藤委員代理、卯津羅委員代理、
橋田委員代理、高橋（仁）委員代理、安永委員代理、奥田委員代理、
鳥海委員代理、押尾委員代理

報告1 救急救命士の気管挿管・薬剤投与・指導救命士の県内状況について

【事務局説明】

県防災危機管理部消防課から説明を行った。意見・質疑等なし。

報告2 医療機関に所属する救急救命士が行う救急救命処置に係る認定状況について

【事務局説明】

県健康福祉部医療整備課から説明を行った。意見・質疑等なし。

報告3 ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管挿管の講習実施状況について

【事務局説明】

県防災危機管理部消防課から説明を行った。

【意見・質疑応答】

<中田会長>

消防の現場でビデオ硬性挿管用喉頭鏡は使用しているのか。まだ使用していないところが大半ということか。資料を見るとトレーニングを受けている人も少ないようなので。

もしくは、消防学校などで今後トレーニングしていく予定はあるのか。

<消防学校>

県消防学校では、各消防本部の希望等があれば検討を進め、講習を実施したいと考えている。

報告4 救急救命士処置範囲拡大に伴う追加講習の実施状況等について

【事務局説明】

県防災危機管理部消防課から説明を行った。意見・質疑等なし。

報告5 消防学校に係る救急教育カリキュラムへの医師の協力依頼について

【事務局説明】

県防災危機管理部消防課（県消防学校）から説明を行った。

【意見・質疑応答】

<中田会長>

再教育を受ける人がいないということか。

<消防学校>

再教育は希望人数が少数であり、実施していない状況である。

<中田会長>

来年度はどうか。

<消防学校>

再教育の予定はない。

<中田会長>

再教育の方は現場で使用できているため、特に再教育はいらぬというスタンスであると理解した。

<事務局 消防課>

報告3について一点補足する。ビデオ硬性挿管用喉頭鏡に関しては、現在、救急救命士の資格試験や大学教育カリキュラムに入ってきている。追加講習者の対象者として消防学校等におけるカリキュラムが行われており、その対象者が減少しているということである。

<中田会長>

対象者は限られているということか。

<消防学校>

そうである。この講習に対しての希望者がいないということである。

報告6 ちば救急医療ネットのシステム改修について

【事務局説明】

県健康福祉部医療整備課から説明を行った。

【意見・質疑応答】

<卯津羅委員代理>

昨年、茨城県で似たようなシステムが始まっており、問題点や情報をもらえないか確認するということだったかと思うが、茨城県からシステム運用するにあたって良いアドバイスなどはもらったのか。

また、県境をまたぐ搬送に関して、茨城県から良いアドバイスはあったのか。

<事務局 医療整備課>

茨城県のシステムにつきましては、詳細を聞いていない。

今回暫定的な改修という側面もあるため、今後他県の状況や国の状況、システム利用者

の皆様御意見を引続き聞き、少しずつよいものに改修していきたいと考えている。
県境のほうの話についても今後確認させていただく。

<銚子消防本部 東部MC>

東部MCでは令和6年8月からスマート119を運用している。

スマート119では複数傷病者に対応できないということ、スマート119の患者情報を消防本部の救急活動報告にリンクできないかということについて、救急のDX化を目指すうえで何とかお願いできないか。

<事務局 医療整備課>

今回年度内に一度改修をしなければいけないので、銚子消防さんからいただいた御意見そのものを実現することは、業者と相談したところ難しいということにはなっているが、今後もシステム改修をしていきたいと考えている。

<不動寺委員代理>

従来ちば救急医療ネットは、救急隊が色々な情報を使って病院を探すということになっているのではないと思うが、病院としても転送先を探さないといけないという機会があると思う。

そういった時に、実はシステムに出ている情報、例えば実施基準等が現実とは違うデータが出ているのではないと思う。

そういった部分を現実に則した形に変更していただき、新しい救急のシステムでは、救急隊が病院を探せるのはもちろん、病院のほうでも転送先の病院を探せるようなものになるのか。

<事務局 医療整備課>

今の情報システムは救急隊が病院を探すというシステムになっていると思うが、病院間の転送に役立つデータにもなり得ると思っている。

御指摘のあった搬送基準について、搬送基準そのもの見直しについてはこの審議会の所掌事項になるため、御意見等を伺い協議していきたい。

以上